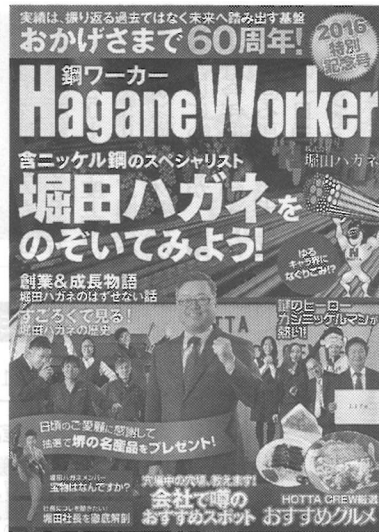


堀田ハガネが60周年

力作の記念誌、丹念な取材で好評



するオリジナルキャラクター入り、商社業務の近代化を成
「ガンニッケルマン」も「ゆし」ゆじた話などが、「キーワー
るキャラクターになべりこみ?」
の見出しと共に存在感をホシ
ながら記載されている。

この記念誌を彩るコンテン
ツは全部で10項目。

最初の「創業物語」と次の
「成長物語」、それに「堀田
ハガネ沿革すゝろく」の三つ
で、60年間の歴史をコンパクト
にわかりやすくまとめている
。

「創業物語」は、創業者の
堀田公氏(前社長)が戦後の
復興期に鋼材流通の現場で鍛
えられ、27歳だった1956
年に独立し、堀田鋼商店と
して産声を上げたときは従業
員が1人しかいなかったこと
に始まり、事業を拡大・充実
させていく足跡をたどる。

創業時、鋼材運搬用に單車
を改良した「ホンダ・ドリ
ム」号が活躍した話や、「組
織」「財政」と並んで「宣伝」
に力を入れることをモットー
にしていた堀田公氏は、目抜
き通りの要所に看板や電柱広
告を設置して社の存在をアビ
ールした話、1970年頃に
大手銀行と提携して早々と
コンピュータシステムを導入
させたエアージャワーなど

一般にはなかなか見えにくい
コが凄いぞ!堀田ハガネ。
同社の扱っている製品が、ど
のように社会を支えているか
のよう社会を支えているか
を、歩道柵に使われるアイボ
ルト、鉄道などに使われる歯
車、船舶などで部品と部品を
つないでいる精密ホルトを代
表として紹介するとともに、
業務革新の一環として役立て
られているものとして、高性
能の切斷マシン、安全性を向
上させたエアージャワーなど



特殊鋼流通トップクラス企
業を掲げる堀田ハガネ(大阪
府堺市西区)が創業60周年を
迎え、記念誌を刊行した。刊
行された読み物だと評判を呼んで
いる。
「2016特別記念号だ。
A4判サイズで30ページフ
ルカラー。雑誌テイストで気
楽にページを開くことができ
る、工夫に満ちた内容と体裁
が特色となっており、社員や
その家族、OBたちにとって
引く、よく見ると、同社をPR



ガンニッケルマン

記念誌「鋼ワーカー」の後
半は、同社の誇る人材および
地域に密着した情報が柱だ。
人物が具体的に登場するコ
ナリーは、「堀田社長にコレを
聞きたらいい!」現役社員に密
着し、「HPT33(堀田ハガネ
社員33名)の宝物」の三つ。
堀田靖社長を「徹底解剖」す
るページでは、社員アンケ
ートに基づいて、同社長が質問
に答えた結果が一覧できるよ
うになっている。「小さい頃の
夢は?」「なんとなく稼業
を継ぐんだらうというイメ
ジが強いが、自転車で日本一
周!だとか、10年後の堀田ハ
ガネは?」「特殊鋼と限定せ
ずニッチな商品を売る流通・
加工を追い続けている企業」
など、硬軟16問への各種回答
が関心を掻き立てる仕組みだ。
営業グループと物流グル
ープの男性社員一人ずつの「リ
アルな一日」を密着取材した
り、社員33人にとっての「宝
物」を顔写真付きで出すな
ど、同社の存在を身近に感じ
させる楽しいページとなっ
ている。
地域密着情報では、「HOTT
TA CREW」と名付けた
社員たちによる取材チームが
活躍。同社周辺にある、お気に
入りのクルマスポット16か所
を、メニューや所在地情報入
りで紹介しているほか、堺市
内と近郊のおすすめ観光スポ
ット9か所を特集している。
制作期間1年に及ぶ力作の
60周年記念誌は、手間を惜し
まない丹念な取材により、創
業以来の斬新な宣伝・広報の
DNAが体現されたものに仕
上がっており、好感度アップ
に貢献していることは間違
ないだろう。
「振り返る過去ではなく、未
来へ踏み出す基盤」と最初の
ページに広告コピーが記載さ
れているが、次の10年、そして
40年後の100周年に向け、
同社の歩みが注目される。